

【7月29日】岡村副会長の「マダム バタフライ」いよいよ！

(2011/07/29 金曜日 16:33:09 JST) - 投稿者 webmaster - 最終更新日 (2011/07/29 金曜日 16:34:21 JST)

?? 世界に輝く正しい蝶々さんに熱い声援を贈ろう!!? 新国際版オペラ「マダム バタフライ」世界初演 (改定版台本・演出: 岡村喬生) 8月6日、11日、18日 イタリア トーレ・デル・ラーゴ野外湖畔劇場 ? 当協会の岡村喬生副会長が全力を挙げて実現させた新国際版オペラ「マダム バタフライ」のイタリア公演が、いよいよ目前に迫った。8月6日、11日、18日にトーレ・デル・ラーゴの新野外湖畔劇場 (3200席) で行われる改訂版世界初演は、日本のオペラ界にとっても画期的快挙である。厳しいオーディションで選ばれた日本側出演者の二宮咲子 (蝶々さん)、末広貴美子 (すずき)、高橋淳 (ごろう) と芸者役9名らが、7月7日にイタリア文化会館アネッリ・ホールで公開練習を行って絶賛を博すなど準備は万全だ。この日は、本番も取材に入るNHKBSプレミアムが取材した。公演の様様を含む『新国際版マダム バタフライ世界初演ドキュメント』は10月に放送される。8月4日と17日に日本から応援ツアーが出発するが、我々も協会を挙げて熱いエールを贈りたい。そして、土産話を心から楽しみたい。【Latvija編集長 徳田浩】? 岡村喬生氏からのメッセージ? 我々は自国についての間違いは、如何なるものでも毅然として訂正す! 然り、日本を世界に知らしめたオペラ「マダム バタフライ」は、10箇所以上の台詞の間違いを抱えたまま、世界中で初演以来、106年も上演され続けてきました! これを僕は世界初に訂正しました。偶然、その間違いに気づき、間違ったまま歌われた立場に置かれたからで、日本人オペラ歌手なら誰でもそうするだろうと信じます。ブッチーニと2人の台本作家は、地球の反対側の不思議の国を正しく描こうと、手を尽くしました。この改定上演は彼らの意思を満足させるものだと信じます。ブッチーニフェスティバルという、このオペラの世界の中心での世界初演に、是非とも、年来の仲間である皆様のご声援をお願いします。【3月11日】岡村副会長の新国際版「蝶々夫人」朝日新聞も紹介? 【10月6日】正しい「マダム バタフライ」新国際版 本場で世界初演? ? ? ? ?